

2018年3月28日  
日本図書館協会目録委員会

## 『日本目録規則 2018年版』（予備版）公開と今後のスケジュールについて

日本図書館協会目録委員会は、国立国会図書館との連携のもとに、新しい『日本目録規則』の策定作業を進めてきましたが、今般、『日本目録規則 2018年版』（予備版）をPDF形式で公開しました。

今回の予備版公開は、2017年10月6日付文書『『日本目録規則 2018年版』（仮称）策定スケジュールの見直しについて』で申し上げた、以下のスケジュールに沿うものです。

2018年3月 PDF形式で「予備版」公表

- ・この段階で骨格を固め、以後、条文の大幅な組み替えは行わない
- ・重要な用語も確定し、以後、原則として見直しは行わない
- ・細かな文言の修正は、全般にわたって行う可能性がある
- ・この時点では、一部の付録はできていない可能性が高い

\*再度のパブコメ募集は行わない予定

2018年4月～ 付録作成作業、全体調整・校正、冊子体編集

2018年12月ごろ 冊子体刊行、PDF形式（本版）公表

今回の予備版と2018年刊行予定の本版（冊子体およびPDF）との関係は、次のようになります。なお、本規則の全体構成は第0章（総説）の#0.6をご覧ください。

### <規則本体（各章の条文）>

- ・スケジュールの通り、予備版から大幅な組み替えを行うことはありません。文言の修正等は、全般にわたって行う可能性があります。
- ・章立てのみを行って（保留）としている章は、本版においても未刊の予定です。
- ・「序説」の「4-3本規則の今後」で述べている諸課題は、本版刊行以降に持ち越される課題です。本版刊行段階で対応することはありません。

### <付録>

- ・付録#A.1（片仮名記録法）、付録#C.1、#C.2、#C.4（関連指示子）については、規則本体と同じく、予備版から大幅な組み替えを行うことはありません。
- ・付録#D（用語解説）については、本来収録すべき用語のすべてを含んでおらず、本版で増補する予定です。
- ・#0.6に挙げたその他の付録は、本版までに作成します。ただし、（保留）としているものは、本版においても未刊の予定です。

今後、予定通りの本版刊行に向けて、諸作業を進めてまいります。